

畜産業の振興について

令和6年10月

農林水産部畜産課

目次

I 畜産業の概要

- 1 産出額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 2 家畜の飼育状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

II 主要家畜の生産振興

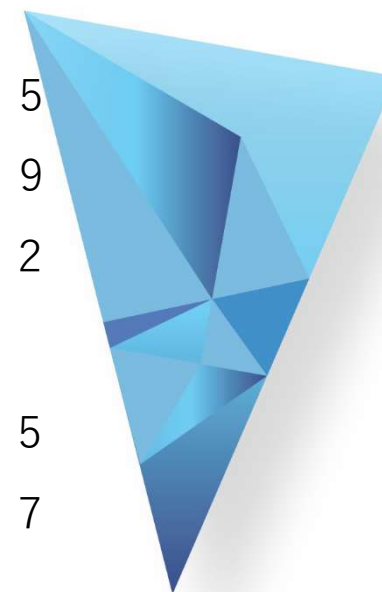
- 1 肉用牛の振興・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 2 酪農の振興・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 3 養鶏・養豚の振興・・・・・・・・・・・・ 12

III 資源循環型畜産の推進

- 1 飼料対策の推進・・・・・・・・・・・・ 15
- 2 良質堆肥の生産と有効利用の推進・・・・ 17

IV 家畜衛生の向上と畜産物の安全性確保

- 1 家畜衛生の向上・・・・・・・・・・・・ 18
- 2 畜産物の安全性確保・・・・・・・・・・・・ 21



ひょうご農林水産ビジョン2030施策体系表における位置づけ

【めざす姿】

御食国ひょうご 令和の挑戦
 〳都市近郊の立地を活かした農林水産業の
 基幹産業化と五国の持続的発展〵

【基本方向】

【基本方向1】
 基幹産業として持続的に
 発展する農林水産業の
 展開

【基本方向2】
 県民が安心して暮らせる
 活力ある地域の創出

【基本方向3】
 「農」の恵みによる健康
 で豊かな暮らしの充実

【推進項目】

- 1 スマート化による新しい農林水産業の実現
- 2 多様性と都市近郊の立地を活かした力強い農業の展開
- 3 需要に応じた高品質な畜産物の生産力の強化
- 4 木材利用の拡大と資源循環型林業の推進
- 5 豊かな海と持続的な水産業の実現
- 6 農林水産物のブランド力強化と生産者所得の向上
- 7 食の安全を支える生産体制の確保

- 8 特色を活かした活力ある地域づくりの推進
- 9 農山漁村の防災・減災対策の推進
- 10 豊かな森づくりの推進

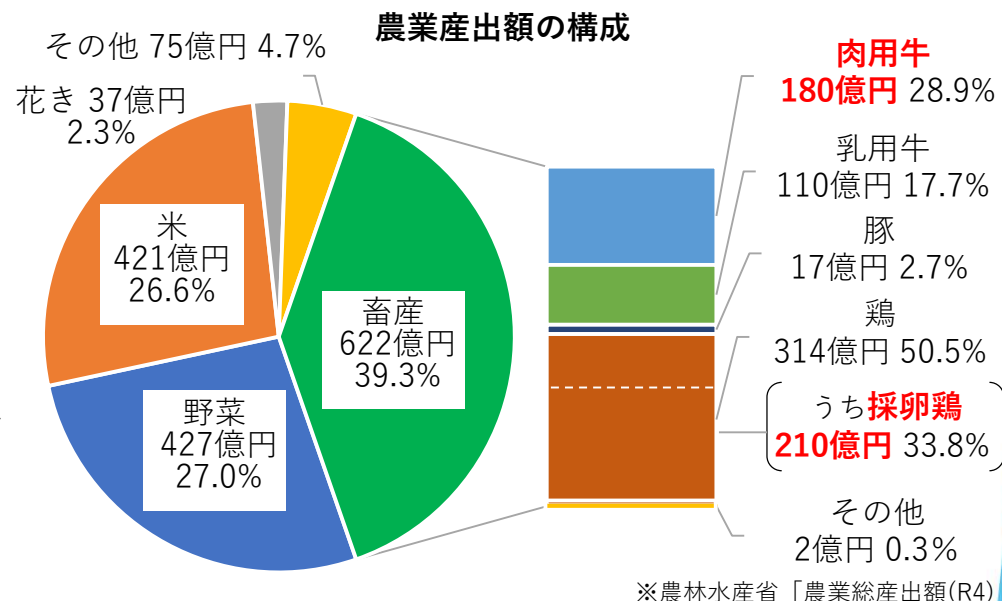
- 11 食と「農」に親しむ楽農生活の推進
- 12 「農」と多様な分野との連携強化
- 13 県民への農林水産物の安定供給と県産県消の推進

: 資料に掲載している施策項目

I 畜産業の概要

1 産出額

- 令和4年の本県の農業産出額1,583億円のうち、**畜産の産出額は622億円(39.3%)**で本県農業の主要部門
- 近畿の畜産産出額の61.9%で、京阪神都市圏における畜産物供給基地として重要な位置づけ
- 家畜別では、肉用牛が180億円(前年比104.0%)、乳用牛が110億円(同94.8%)、豚が17億円(同106.3%)、鶏が314億円(同95.4%)



2 家畜の飼育状況

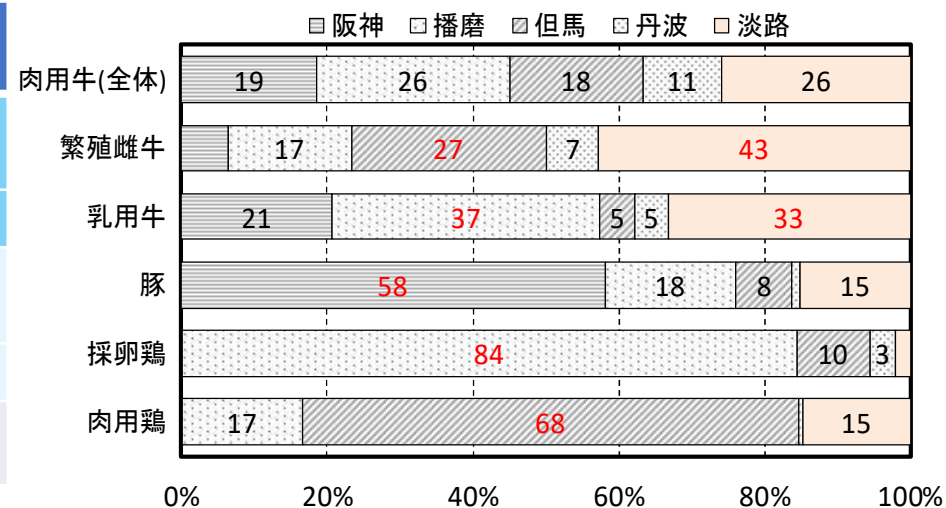
- 飼育戸数は採卵鶏を除いて減少傾向にあり、頭羽数は採卵鶏で減少傾向
- 主な飼育地は、**繁殖雌牛は淡路と但馬**、**乳用牛は播磨と淡路**、**豚は阪神**、**採卵鶏は播磨**、**肉用鶏は但馬**

家畜の飼育戸数及び頭数

<単位：戸、頭、万羽 ()内は前年比(%)>

区分	肉用牛		乳用牛	豚	採卵鶏	肉用鶏
	繁殖雌牛					
戸数	1,030 (94.5)	921 (95.5)	200 (92.6)	16 (84.2)	43 (100.0)	32 (76.2)
全国順位	10	10	11	33	13	10
頭羽数	58,400 (99.3)	18,000 (100.6)	12,300 (99.2)	20,000 (97.1)	565 (91.1)	241 (108.5)
全国順位	10	10	14	37	12	12
頭羽数/戸	56.7 (105.2)	19.5 (105.3)	61.5 (107.1)	1,250.0 (115.3)	13.2 (91.1)	7.5 (142.2)

家畜飼育頭羽数の地域分布



※「畜産統計(令和6年2月1日現在)」(農林水産省)

※採卵鶏は1,000羽以上の経営、肉用鶏は年間出荷羽数3,000羽以上の経営

※畜産課調べ

II 主要家畜の生産振興

1 肉用牛の振興

神戸ビーフの需要に応えるため、但馬牛繁殖雌牛の増頭や受精卵移植による肥育素牛の増産を推進するとともに、「県立但馬牧場公園」や「神戸ビーフ館」において神戸ビーフの魅力等の情報発信を充実

(1) 最近の動き

ア 但馬牛枝肉価格と子牛価格

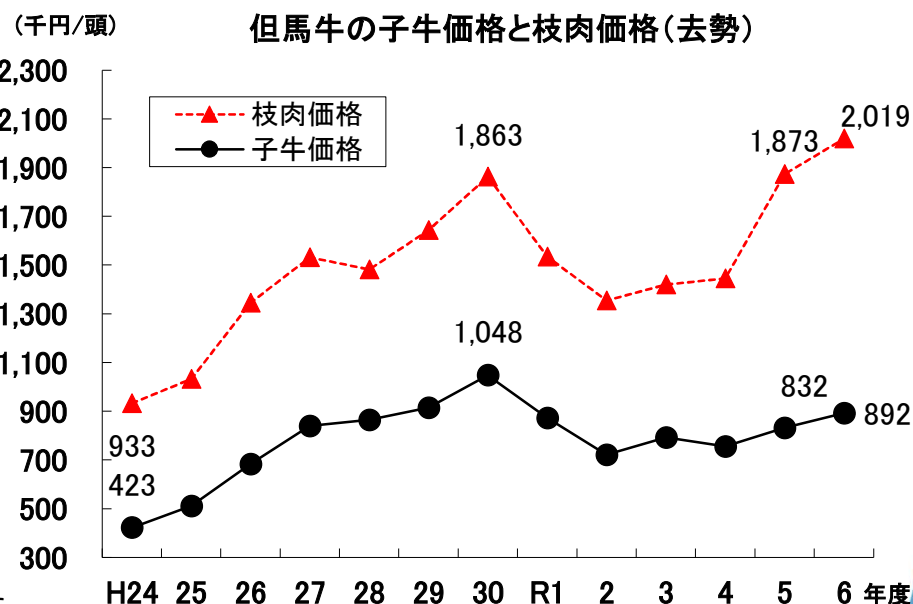
- ・ 枝肉価格と子牛価格は、令和元、2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により下落
- ・ **令和3年度以降は**国内外の経済活動の再開とともに回復に転じ、**高値傾向で推移**
- ・ 特に**枝肉価格は令和5年度過去最高の高値**を記録し、今年度も高水準で推移

イ 但馬牛繁殖雌牛頭数の推移

- ・ 令和5年度の**但馬牛繁殖雌牛の頭数**は高齢者の廃業等により、廃用が新規導入を上回り、13,824頭に**減少**
- ・ 繁殖経営戸数は921戸(前年度比95.5%)と減少、1戸あたりの飼育規模は15.0頭(同103.4%)に拡大

但馬牛繁殖雌牛頭数

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R12目標
繁殖雌牛	13,482	14,060	14,145	14,001	13,993	13,824	16,000
新規導入	1,611	1,805	1,844	1,681	1,711	1,621	—
廃用	1,287	1,227	1,759	1,825	1,719	1,790	—
前年比	+324	+578	+85	△144	△8	△169	—



※ R6は4～9月の平均価格 ※ 畜産課調べ

II 主要家畜の生産振興

(2) 主な振興施策

ア 繁殖雌牛の増頭対策

(ア) 法人等の参入支援

- ・ 畜産業への参入希望者と用地等の提供者を「**畜産参入支援センター**」(畜産課内)で**マッチング**し、活用可能な事業も紹介するなど総合的に支援
- ・ 民間企業や県外からの移住者による牛舎整備、また**酪農の空き牛舎を活用した但馬牛繁殖雌牛飼養農家の新規参入等が実現**



酪農の空き牛舎を活用した繁殖経営への参入(加西市)

(イ) 繁殖雌牛の導入及び牛舎整備の支援

- ・ 規模拡大や新規参入を推進するため、**繁殖雌牛の導入や牛舎の整備・増改築を支援**
- ・ 新規参入者等に分娩間近の雌牛を斡旋する「妊娠牛供給センター」の運営を支援

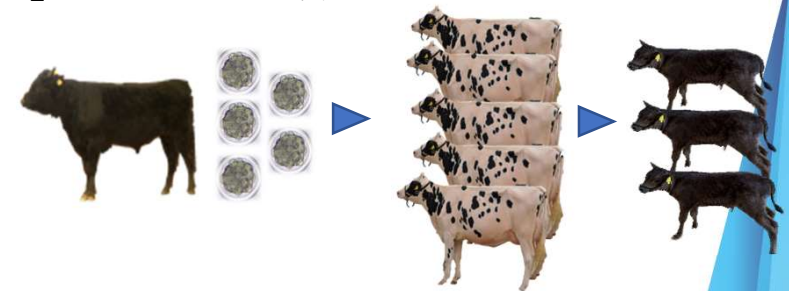
イ 神戸ビーフの増産対策

(ア) 但馬牛受精卵移植による「神戸ビーフ」供給力強化

- ・ **乳用牛等に但馬牛受精卵を移植**して、神戸ビーフを増産

受精卵移植による但馬牛生産状況

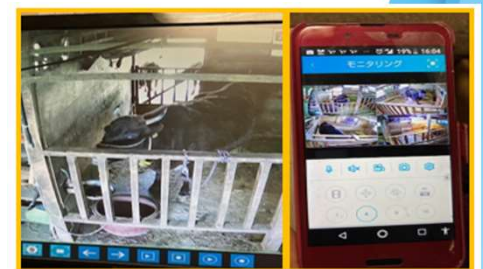
年次	H30	R1	R2	R3	R4	R5
頭数	292	299	366	434	488	412



受精卵移植による増産イメージ

(イ) スマート畜産の推進

- ・ 大規模化による**交配適期の見落としや子牛の死廃事故を回避して生産性を向上するため**、カメラやセンサーによる**感知通報システム等の導入を推進**



カメラによる分娩等監視システム(洲本市)

II 主要家畜の生産振興

(ウ) 神戸ビーフ認定頭数と認定率の向上

- 県が開発した「但馬牛肥育マニュアル*」の定着や但馬牛の改良により、**近年の神戸ビーフ認定率は90%超**

* 肥育素牛の月齢や栄養状態に適した飼料給与方法等をマニュアル化

たじまぎゅう

【但馬牛と神戸ビーフの定義（神戸肉流通推進協議会）】

県内で生まれ、県内で肥育した但馬牛で、かつ県内のと畜場で処理した牛肉を
但馬牛、その中で一定の基準を満たすものを神戸ビーフと定義

歩留等級	「A」 又は 「B」												
肉質等級	1	2	3	4				5					
脂肪交雑	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
ブランド	28～60ヶ月齢					雌:270～499.9kg、去勢:300～499.9kg 「神戸ビーフ」							
	「但馬牛（ぎゅう）」												

たじまうし

ウ 但馬牛の改良

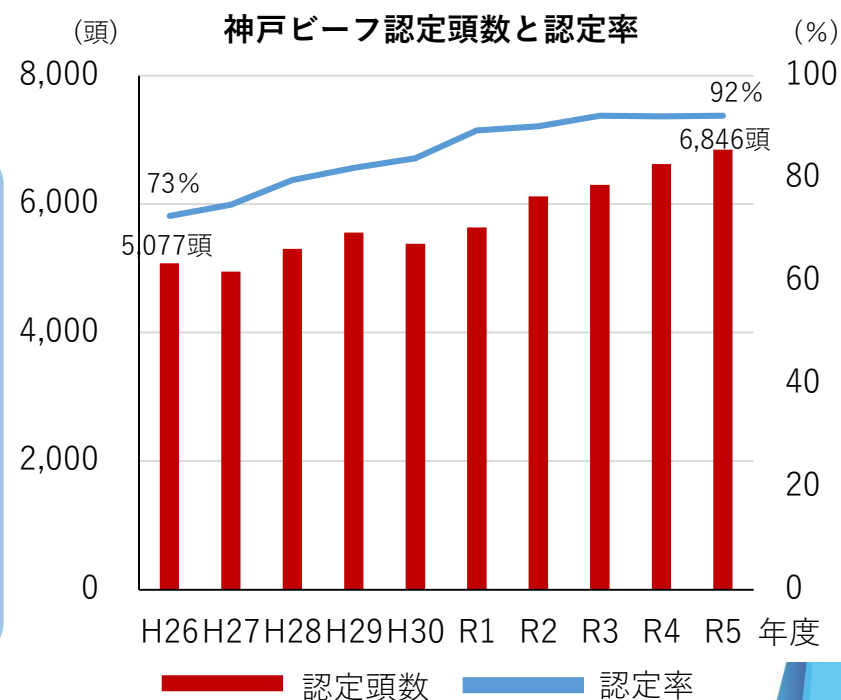
- 令和4年度から**ゲノム情報を活用した但馬牛改良の検討に着手し**、但馬牛固有の遺伝的多様性の確保と産肉性・種牛性に優れた種雄牛づくりを推進

エ ブランド強化と需要拡大

たじまうし

(ア) 但馬牛・神戸ビーフの情報発信の充実

- 「**県立但馬牧場公園**」(新温泉町)では、但馬牛を学び、触れ、食することができるプログラムにより、世界農業遺産をはじめとする但馬牛の歴史や魅力を発信
- 「**神戸ビーフ館**」(新神戸駅(コトノハコ神戸))では、神戸肉流通推進協議会ほか関係団体とともに神戸ビーフの歴史や定義・美味しさの訳などの魅力を発信



神戸肉流通推進協議会が設置した大型神戸ビーフPR看板 (3×7m) (神戸市中央区加納町3丁目交差点)

II 主要家畜の生産振興

(イ) 神戸ビーフの輸出促進

- ・ **神戸ビーフの輸出量は**令和5年度**69t**（前年度比88%）となり、現在、世界27カ国・地域に輸出
- ・ **42カ国・地域、535店舗**の神戸肉流通推進協議会の指定登録店（レストランや精肉食肉販売店）**で販売**
- ・ 令和5年度、三田食肉センターからサウジアラビアへの輸出が急増

神戸ビーフの輸出状況 (t)

輸出先	EU等*1	米国・カナダ	台湾	香港	シンガポール	フィリピン	UAE	サウジアラビア	オーストラリア	その他*2	合計
R3年度	22.8	14.7	8.4	8.4	1.9	3.4	4.9	-	6.2	2.4	73.0
R4年度	21.7	14.2	8.5	9.3	1.1	4.6	7.7	0.7	6.4	3.4	77.8
R5年度	19.8	15.8	6.1	3.8	1.1	2.1	3.1	10.2	3.9	2.6	68.5

* 1 ドイツ、モナコ、デンマーク、ベルギー、オランダ、フランス、スイス、イギリス、スペイン、イタリア

* 2 メキシコ、ベトナム、タイ、マカオ、ロシア、カタール、マレーシア

※畜産課調べ

【コンソーシアムによる神戸ビーフの輸出促進】

- ・ 対欧米：和牛マスター食肉センター（姫路市）等が、動物福祉に配慮した家畜の管理や、現地でステーキ以外（バラ・もも等）の調理法を提案
- ・ 対台湾：神戸市立食肉センター等が、日本料理店で特別メニューを提供
- ・ 対イスラム圏：三田食肉センター等が、マレーシア等での現地商談会等を予定



着物ブッチャーによるカットショー（イタリア）

【世界農業遺産「^{たじまうし}美方地域の伝統的但馬牛飼育システム」ロゴマーク決定】

- ・ 香美町、新温泉町、JAたじま等で構成される「美方郡産但馬牛」世界・日本農業遺産推進協議会が世界農業遺産に認定された「人と牛が共生する美方地域の伝統的但馬牛飼育システム」のロゴマークを公募し、総数60点の中から決定
- ・ 令和6年9月22日県立但馬牧場公園で開催した「世界の^{たじまうし}但馬牛まつり」においてロゴマークの除幕式典を開催
- ・ 但馬牛を包み込むような人の手は、美方地域の人々が但馬牛を手塩にかけて大切に育んだ歴史を、また金色は稲穂や高級感を、そして紫色は日本の伝統や高品位を表現



世界農業遺産
兵庫美方地域

II 主要家畜の生産振興

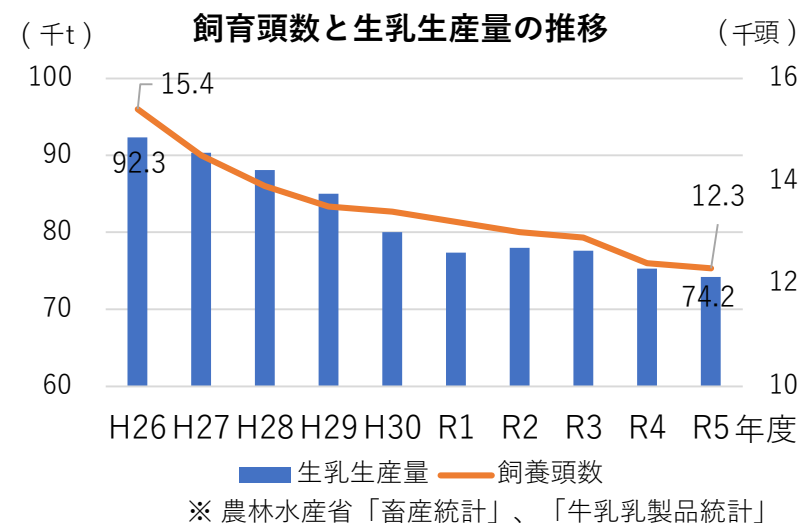
2 酪農の振興

飼料価格の高止まりなどにより厳しい経営が続く中、生産性の高い牛群への改良やスマート機器等の導入を進め、収益性の向上と生産基盤の確保を図るとともに、県産牛乳・乳製品の需要を拡大

(1) 最近の動き

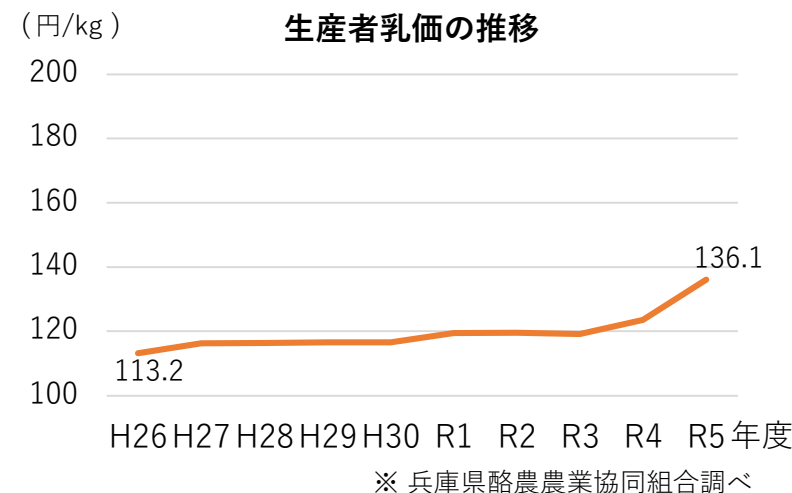
ア 飼育動向

- 生産者の高齢化や飼料価格高騰による廃業が続き、令和5年度の**飼育頭数**は12,300頭(前年度比99.2%)、**戸数**は200戸(同92.6%)に**減少**したが、1戸あたりの飼育規模は61.5頭(同107.1%)に増加
- 令和5年度の**生乳生産量は**74,200t(同98.5%)と**やや減少**(全国の生乳生産量も732万tに減少(前年度比97.2%))



イ 需給及び価格動向

- 全国の牛乳等飲用向けの処理量は、値上げの影響により需要が伸び悩んだために384万tに減少(同97.4%)し、需給調整の役割を担うヨーグルトやチーズ向け等の加工用も344万tに減少(同96.9%)
- 県内の生産者乳価は**、飲用向けが令和4年11月と令和5年8月に各々1kg当たり10円値上げされたことなどに伴い、**136円台に上昇**(令和3年度比114%)



II 主要家畜の生産振興

(2) 主な振興施策

ア 生産基盤の強化

(ア) スマート酪農の推進

- ・ **労働負担の軽減や生産性向上を図るため**、搾乳ロボット*1や発情発見装置、分娩監視装置等の**スマート機器の導入を支援**
- ・ **搾乳ロボット**は、通常1日2回行う搾乳作業を24時間自動で適時に行うことができ、搾乳量の増加と大幅な省力化を実現

*1 搾乳ロボットとは

- ・ **搾乳回数や搾乳の都度、乳量、乳成分、体重、体温(乳温)などの情報をモニターでき、適切な個体管理が可能**

(イ) 生乳の生産性向上

- ・ **高産乳能力牛の導入や優良雌判別精液、受精卵の活用を支援**することにより、優れた後継牛の確保を図るとともに、乳房炎や暑熱対策等を進め、牛群の産乳能力向上を推進
- ・ **近年の酷暑により**、1頭あたりの**年間生乳生産量は8,500kg前後で横ばい**



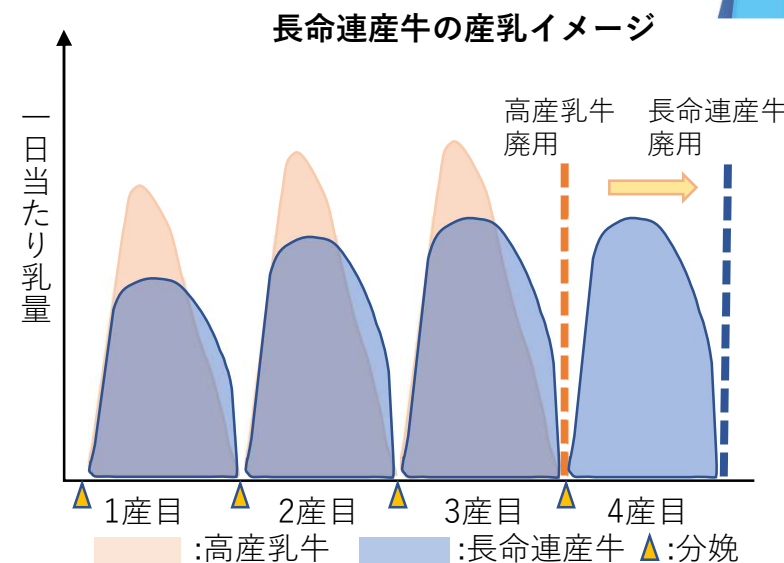
- ・ 産乳能力に加え、**供用期間の延長や分娩回数の増加など**、**“長命連産”能力*2を重視した収益性の高い牛群への転換を開始**

*2 長命連産能力とは

- ・ 搾乳可能年数(供用期間)が長い(1頭当たりの生涯生乳生産量の増加)
- ・ 繁殖性が高く、より多くの子牛を産む(産乳量が低い期間が短い)
- ・ 必要となる後継牛頭数が減少(育成や導入のコストの低減)



搾乳ロボットによる自動搾乳(赤穂市)



II 主要家畜の生産振興

(ウ) 付加価値を高める取組

- ・兵庫県但馬牛受精卵移植協議会と連携して、酪農家34戸が**受精卵移植により全国的にも価格面で有利な但馬牛子牛を生産**
- ・**6次産業化の取組として、酪農家13戸が牧場に併設する店舗やレストラン等でチーズやジェラートなどを製造、販売**

6次産業化の取組状況 (R6.3月末現在)

区分	アイスクリーム類	チーズ	低温殺菌乳	ヨーグルト
戸数	9	6	1	1

イ 県産牛乳・乳製品の需要拡大

(ア) 酪農の理解醸成活動(ふれあい体験授業 「もう～もう～スクール」)

- ・酪農家が学校に出向き、牛体の構造や子牛の出産について**模型を用いた講義や搾乳及びバター作り体験**などを提供するとともに、**インターネットで牧場の様子を中継**して生徒らと交流
- ・令和5年度は4校127名が参加し、先生方や保護者から好評

(イ) ひょうご食品認証制度の活用

- ・ひょうご食品認証制度を活用し、県産牛乳・乳製品の需要を拡大

県内乳業メーカーにおける認証状況 (R6.3月末現在)

	乳業メーカー	牛乳	ヨーグルト	プリン
品 目 数	(株)共進牧場	4	1	
	丹波牛乳(株)	3	10	
	淡路島牛乳(株)	2	4	2



酪農家が直営するジェラートショップ (赤穂市)



酪農家による小学校での講義(加東市)

II 主要家畜の生産振興

3 養鶏・養豚の振興

鶏卵・鶏肉・豚肉の生産においては、飼料用米や食品由来のリサイクル飼料を活用するなど、高品質で個性・特長ある畜産物の生産を推進

(1) 養鶏の振興

ア 採卵鶏の最近の動き

(ア) 飼育動向（令和5年度）

飼育戸数は43戸(前年度比100.0%)と**変わらず**、**羽数は**565万羽(同91.1%)、1戸あたりの飼育規模は13.2万羽(同91.1%)と**減少**

(イ) 需要及び価格動向

- ・ 全国の鶏卵の流通量は260万t/年程度で、国産は95%
- ・ **卸売価格は**、令和3年度以降、全国的な鳥インフルエンザ発生に伴う殺処分の増加等により**上昇してきたが、今年度は下落傾向**

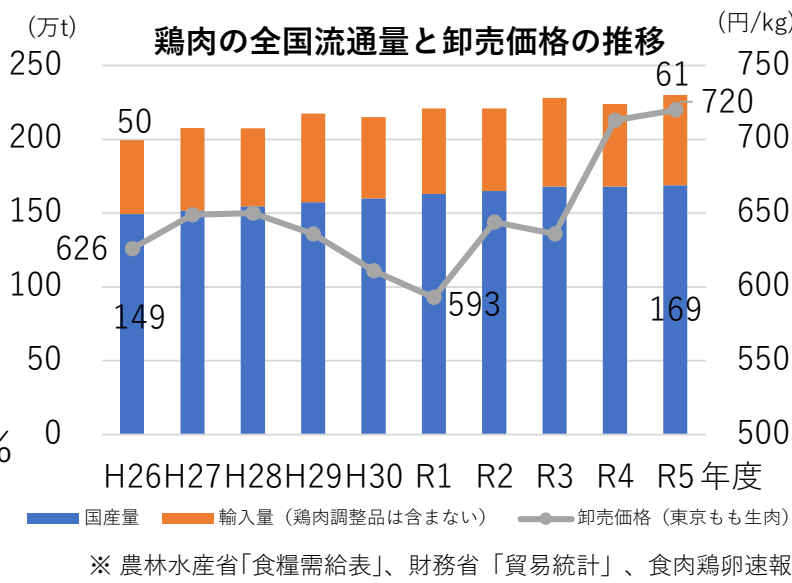
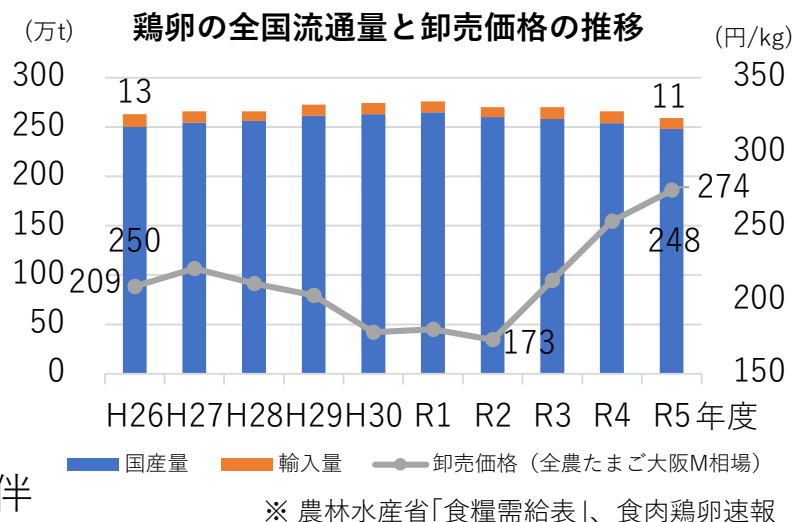
イ 肉用鶏の最近の動き

(ア) 飼育動向（令和5年度）

- ・ **飼育戸数は**32戸(前年度比76.2%)に**減少**したが、**羽数は**241万羽(同108.5%)、1戸あたりの飼育規模は7.5万羽(同142.2%)と**増加**

(イ) 需要及び価格動向

- ・ 全国の鶏肉の流通量は200万t/年を超えて増加傾向で、国産は75%
- ・ **卸売価格は**、令和2年度以降、物価高騰に伴い牛肉や豚肉の代替需要が高まり**上昇してきたが、今年度は下落傾向**



II 主要家畜の生産振興

ウ 主な振興施策

(ア) 個性・特長を活かした鶏卵・鶏肉の高付加価値化

- ・平飼いなどの**アニマルウェルフェア**や県産飼料用米など給与する**飼料等にこだわった**様々な個性・特長を持つ**鶏卵・鶏肉**をひょうご食品認証制度において**認証し、高付加価値化を推進**

ひょうご食品認証制度を活用した鶏卵・鶏肉（R6.3月末現在）

特長	鶏卵			鶏肉	
	平飼い*1	飼料*2	栄養*3	長期飼育	無薬飼育*4
品目数	4	15	9	1	1

*1 鶏をケージに入れずに放し飼い

※ 実品目数20

*2 飼料用米など特長のある飼料を給与

*3 ビタミンEなど特定の成分が豊富

*4 抗生物質及び合成抗菌剤を無使用

(イ) 海外に目を向けた需要拡大

① 鶏卵

- ・令和5年に日本から輸出された鶏卵は約1.9万tで、98%は香港向けだが、香港では日本食文化が浸透し、卵かけご飯など生卵の需要が増加
- ・**県内からは昨年香港に3施設から約275tを輸出**
- ・**今年7月、県内1施設がシンガポールへ初輸出**

② 鶏肉

- ・令和5年に県内1施設が香港へ約145t輸出

【万博弁当の食材に「オクノの玉子」が採用】

- ・大阪・関西万博首長連合が考案する「万博弁当」の食材に、「オクノの玉子」((株)オクノ(加古川市))が採用
- ・同社では地域で栽培された飼料用米や六条大麦、デュラム小麦など県産素材を用いた飼料を給与



「オクノの玉子」を使った
スパニッシュオムレツ(中央左)

【「ひょうごの穂々笑実」の海外展開の強化】

- ・「飼料用米を活用した鶏卵・鶏肉のブランド化推進協議会」では、令和5年9月と令和6年3月の2回、香港の日系小売店において鶏卵「ひょうごの穂々笑実*」の展示販売を行い、鶏ふん堆肥を用いて栽培した飼料用米を給与する資源循環型農業の取組をPR



香港での展示販売

* 上記協議会が取組む飼料用米を10%以上配合(県産米の利用割合50%以上)する飼料を給与した鶏卵・鶏肉のこと

II 主要家畜の生産振興

(2) 養豚の振興

ア 最近の動き

(ア) 飼育動向 (令和5年度)

- ・ **飼育戸数**は16戸(前年度比84.2%)、**頭数**は 20,000頭(同97.1%)と **やや減少**
- ・ 1戸あたりの飼育規模は1,250頭(同115.3%)と拡大

(イ) 需要及び価格動向

- ・ 全国の豚肉の流通量は170～180万t/年で、半分が国産
- ・ **卸売価格は**、平成25年度以降概ね500円/kg前半で推移し、令和4年度以降は物価高騰に伴う牛肉から豚肉への需要のシフト等を背景に **上昇**

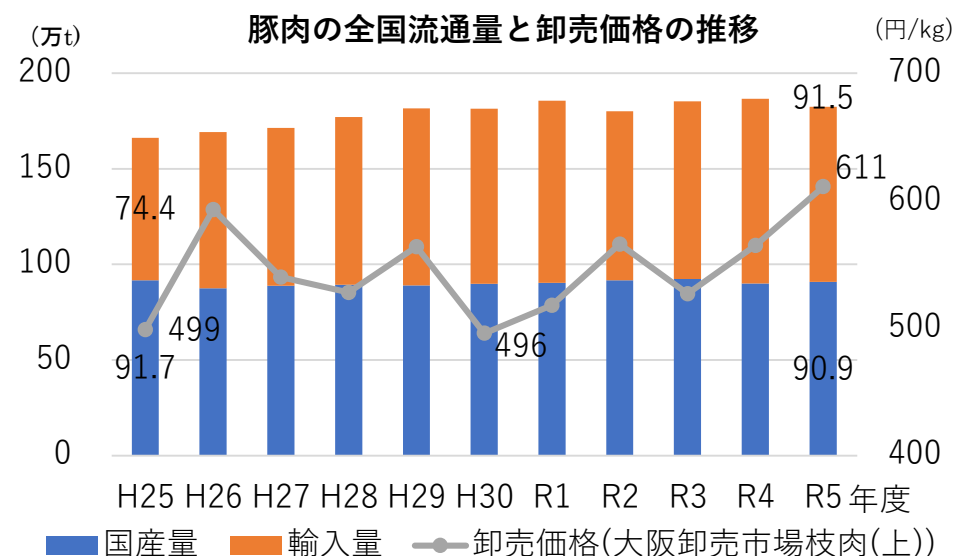
イ 主な振興施策

(ア) ひょうご雪姫ポークの普及推進

- ・ 「ひょうご雪姫ポークブランド推進協議会」と連携して、県が技術開発した肥育後期にでんぷん含量の高いパンや麺類等を含む**エコフィード***を給与した**霜降り豚肉「ひょうご雪姫ポーク」**の普及を推進

* 食品製造過程の副産物や余剰食品などを原料にして加工処理したリサイクル飼料

- ・ 現在、3農場で生産され、精肉店やレストラン等の14店舗で提供



【国際養鶏養豚総合展2024で「ひょうご雪姫ポーク」をPR】

令和6年4月、名古屋市で開催された国際養鶏養豚総合展2024では、生産者が製造しているハムや焼き豚の試食会を実施



「ひょうご雪姫ポーク」

III 資源循環型畜産の推進

持続可能な開発目標(SDGs)に関わる取組の一環として、耕畜連携による自給飼料の生産や畜産堆肥のほ場への還元等を進めることにより、飼料自給力の向上と資源循環型畜産を醸成

1 飼料対策の推進

(1) 最近の動き

ア 飼料の価格動向

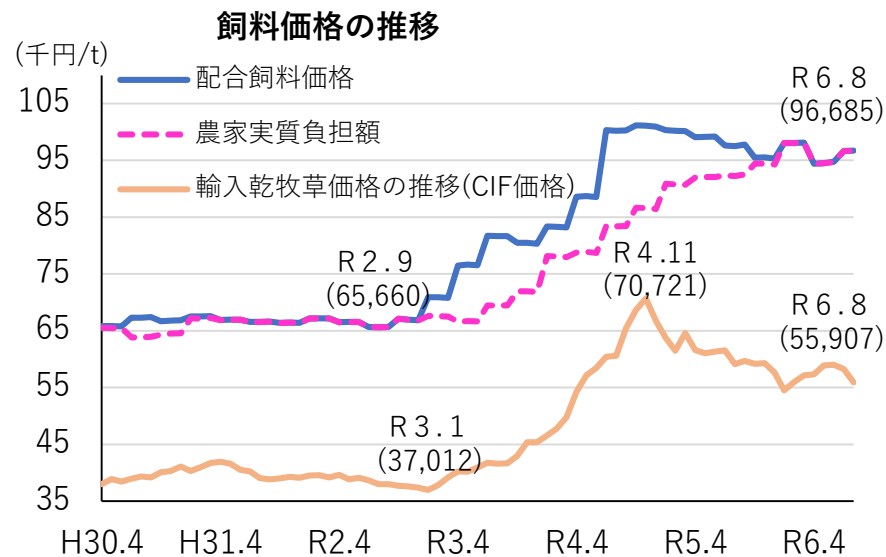
- 配合飼料*¹価格は令和2年末から、粗飼料*²価格は令和3年半ばから上昇し、高止まりの状態
- 配合飼料は**、価格上昇時、配合飼料価格安定制度により畜産経営への影響を緩和しているが、**令和5年第4四半期以降発動がなく、農家実質負担額は高止まり**
- 粗飼料は**、価格安定制度がなく、**価格の高騰が直接的に経営に影響**

* 1 配合飼料：穀類(とうもろこし、こうりゃん等)、大豆油かす、ふすま、米ぬか等があり、エネルギーやたんぱく質が豊富

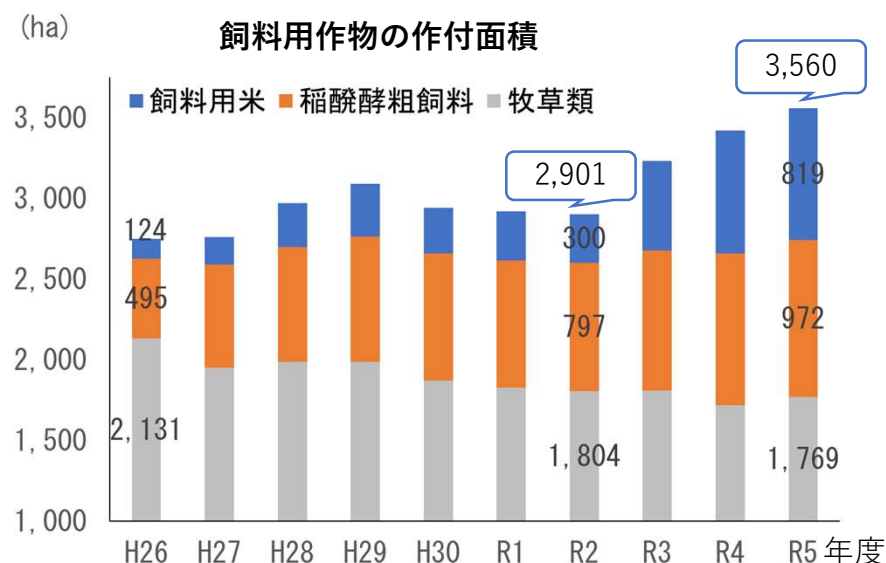
* 2 粗飼料：乾草、サイレージ、わら類等で、繊維質やミネラルなどが豊富

イ 自給飼料の作付動向

- 飼料用作物の作付面積は**、令和5年度は3,560ha(令和2年度比123%)に**増加**し、うち飼料用米は819ha(同273%)、稲発酵粗飼料は972ha(同122%)に増加



※ ALIC「国内統計資料」、畜産課調べ



※ 近畿農政局調べ

III 資源循環型畜産の推進

(2) 主な振興施策

ア 飼料価格高騰への対応

- ・ **粗飼料、配合飼料の価格高騰に対する一時支援金の措置や飼料増産に必要な機械等の導入を支援**

イ 耕畜連携による飼料作物の作付拡大

- ・ 飼料自給力を高め、地域内での資源循環を進めるため、**コントラクター組織や集落営農組織等と連携を強化し、水田を活用した飼料作物の作付けを推進**
- ・ 特に飼料用米は、契約栽培等出荷相談先リストの提供を通じ、耕種農家と実需者をマッチング
- ・ **遅刈り稲発酵粗飼料やソフトグレインサイレージ*1、子実用とうもろこし*2 等、新たな飼料生産に向けた取組も開始**

* 1 飼料用米を収穫後に籾のまま粉碎、加水後密封して数カ月発酵させたもので、配合飼料中のトウモロコシと一部代替が可能

* 2 とうもろこしを完熟させて栄養価の高い子実だけを収穫したもの

【遅刈り稲発酵粗飼料による肥育牛用飼料の給与試験】

- ・ JA兵庫六甲が、刈取り時期を遅らせた稲を用いた稲発酵粗飼料を肥育牛に給与する実証試験を開始
- ・ 稲発酵粗飼料はβカロテンを豊富に含むため、肉にサシが入りにくく、肥育牛の飼料に適さなかったが、刈取り時期を遅らせることで含有量が減少
- ・ 試験給与牛で良好な枝肉成績が確認されれば、但馬牛肥育牛への活用が可能に



遅刈り稲の栽培(神戸市北区)

ウ 但馬牛の放牧推進

- ・ **耕作放棄地やスキー場等を活用して但馬牛を放牧**し、令和5年度は344haで1,093頭を放牧

III 資源循環型畜産の推進

2 良質堆肥の生産と有効利用の促進

「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」に基づき、家畜排せつ物の管理の適正化を推進するとともに、資源循環型畜産及び環境創造型農業の拡大を図るため、耕畜連携による良質堆肥の生産と利用を促進

(1) 良質堆肥の生産

- ・ 家畜排せつ物を堆肥として円滑に農地に還元するための**堆肥製造・保管施設やペレット化機械、堆肥散布機の導入を支援**
- ・ 良質堆肥の生産技術の普及定着と生産意欲の向上を図るため、講習会や**堆きゅう肥共励会**を開催

(2) 堆肥利用の推進

- ・ 肥料価格の高騰を受けて耕種農家における堆肥の需要が高まっているため、兵庫県堆肥マップ*の情報更新と周知により、**堆肥生産者と耕種農家のマッチング**を促し、地域内外における堆肥資源の効率的な利用を推進

* 県内の堆肥生産施設を地域別にリスト化したもので、(公社)兵庫県畜産協会が供給者名、所在地、連絡先、原料、成分含量、供給形態等の情報をホームページで公開

【肥料資源を利用したペレット堆肥の製造】

- ・ (一財)神戸農政公社が、令和5年度に市内の肥料資源を利活用するペレット肥料の製造施設を整備
- ・ 原料は、畜産農家由来の牛ふん堆肥や下水から抽出した「こうべ再生リン」等
- ・ 肥料の試作や栽培実証が進行中



ペレット肥料の製造施設 (神戸市西区)

IV 家畜衛生の向上と畜産物の安全性確保

- ・ 県下に3カ所ある家畜保健衛生所において、豚熱、高病原性鳥インフルエンザ並びに口蹄疫等の**重大家畜伝染病の発生に備えた危機管理体制を強化、慢性疾病の発生予防と清浄化を推進**
- ・ 生産農場における衛生管理指導や動物用医薬品等の適正使用等を通じて、**畜産物の安全・安心の確保を推進**

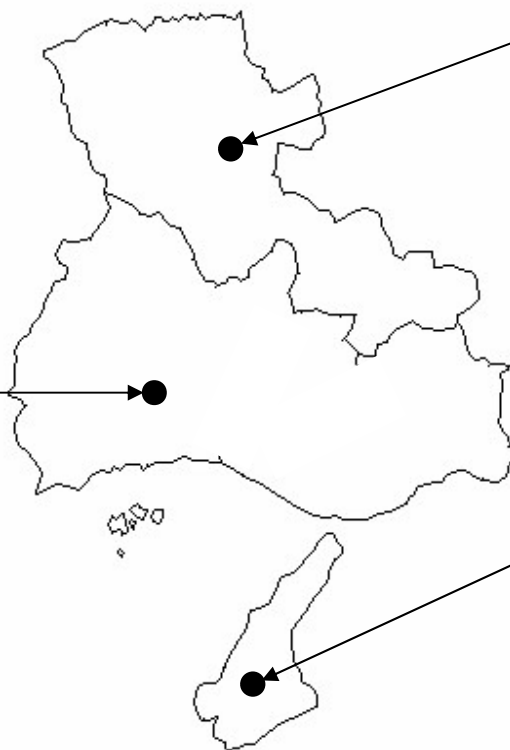
【家畜保健衛生所の配置】

職員51名

うち獣医師48名(再任用含む)



姫路家畜保健衛生所（22名）
○場所：姫路市香寺町中村



朝来家畜保健衛生所（13名）
○場所：朝来市和田山町高田



淡路家畜保健衛生所（16名）
○場所：南あわじ市広田広田

IV 家畜衛生の向上と畜産物の安全性確保

1 家畜衛生の向上

(1) 重大家畜伝染病への対応強化

ア 発生予防対策

- ・ 家畜保健衛生所が農場へ巡回して、**飼育衛生管理基準の遵守指導**を行うほか、**早期通報の徹底等**により注意喚起を強化
- ・ 国内で発生が続く豚熱対策として、令和3年3月以降、**飼育豚へのワクチン接種や野生いのししへの経口ワクチン散布を継続**し、養豚場での発生を防止
- ・ 県内で令和2年度以降3年連続して発生があった高病原性鳥インフルエンザ対策では、**養鶏場における防鳥ネットや野生動物侵入防護柵の補改修を支援**するなど、防疫対策の徹底を図った結果、令和5年度は県内の発生はなし



防鳥ネットを修繕した養鶏場

【アフリカ豚熱の国内侵入対策】

- ・ アフリカ豚熱は、豚熱とは異なる家畜伝染病で、豚といのししが感染し、感染するとほぼ100%死亡
- ・ 令和5年12月に韓国釜山の野生いのししでの感染が報告され、国内へのウイルス侵入が危惧
- ・ 令和6年5月に姫路市で畜産・鳥獣対策等関係者200名が参加し、リスクコミュニケーション研修会を開催
- ・ 野生いのししでアフリカ豚熱が発生した際の早期封じ込めのため、令和6年9月に朝来市において、家畜防疫員等を対象とした死体の梱包や消毒など防疫措置の現地訓練を実施



防疫措置の現地訓練（朝来市）

IV 家畜衛生の向上と畜産物の安全性確保

イ 発生に備えた対策

- ・ 迅速な防疫措置を行うため**民間委託による防疫資材の保管・配送体制を整備**するとともに、**防疫作業の民間委託**の推進、**重大家畜伝染病に関する防疫訓練**、**動員者に対する説明会の開催**、**発生時のマニュアルの見直し**などにより、危機管理体制を強化

【泡殺鳥機*を用いた防疫演習】

- ・ 令和5年9月に平飼いの肉用鶏農場での高病原性鳥インフルエンザ発生を想定した防疫演習を開催
- ・ 殺処分方法として平飼い鶏舎での使用が有効とされる泡殺鳥機を県内で初めて用い、鶏舎に見立てたテント内で実演
- ・ 泡殺鳥機の設置、使用等一連の流れを確認し、作業時間の短縮や従事者数の削減を実現できる効率的な防疫措置方法を確立

* 界面活性剤の泡を鶏舎内に充満させ、鶏を安楽死させる装置



発生を想定した防疫演習(朝来市)

ウ 監視診断対策

- ・ 高病原性鳥インフルエンザは、侵入リスクが高いとされる渡り鳥が飛来する池に近接する**家きん農場でモニタリング検査**を実施
- ・ 豚熱は、市町や猟友会と連携し、感染源とされる**野生いのししの検査体制を構築**し、豚熱ウイルスの浸潤状況を把握
- ・ 異常家きん・家畜発見の通報時には、閉庁日にも**緊急立入検査体制を確保**



死んだ野生いのししからの検査検体の採取

IV 家畜衛生の向上と畜産物の安全性確保

(2) 牛伝染性リンパ腫対策の推進

- ・牛の慢性疾病である**牛伝染性リンパ腫**は、**全国の発生頭数が増加傾向**
- ・県では、本病の清浄化に向け、平成30年度から**但馬牛繁殖雌牛の全頭検査により感染状況を把握**し、感染牛の隔離飼育や優先的な淘汰など**対策を進め、発生頭数は減少傾向**

牛伝染性リンパ腫の発生状況

(頭)

年次	H26	H30	R4	R5
全国	2,400	3,859	4,334	4,493
但馬牛	43	62	41	37

※ 農林水産省「届出伝染病発生年報」、畜産課調べ

2 畜産物の安全性確保

(1) 農場HACCP*1を活用した衛生管理体制の向上

- ・家畜保健衛生所が中心となり、農場において危害要因の管理項目を設け、継続的に監視・記録を行う**農場HACCPの実践や認証取得を推進**
- ・動物用医薬品販売業者や獣医師に対して、**動物用医薬品の適正な販売と使用を指導**

(2) 畜産GAP*2の実践と取得推進

- ・畜産経営の持続性を確保するため、食品安全・家畜衛生に加え、環境保全や労働安全、アニマルウェルフェアに配慮した生産工程管理や改善の取組である**畜産GAPの実践や認証取得を推進**

*1 Hazard Analysis and Critical Control Point:危害要因分析重要管理点

*2 Good Agricultural Practice:農業生産工程管理



農場HACCP認証を取得した養鶏場(上郡町)

県内の認証取得状況

(農場)

区分	肉用牛	採卵鶏	豚
農場HACCP	1	1	1
畜産GAP	1	3	